

令和5年度宮崎県普及指導活動外部評価会資料

評価対象プロジェクト

プロジェクト1

農業の新たな担い手の確保

(対象期間: R3~R7)

プロジェクト2

6次産業化の充実と産業間連携による
農村地域の所得の確保

(対象期間: R3~R7)

令和5年11月13日

西臼杵農業改良普及センター

目次

I	地域農業の概要	P1
II	普及センター組織図	P2
III	プロジェクト一覧	P3
IV	プロジェクト設定の手順	P5
V	プロジェクト1	P6
	① 普及計画の概要		
	② 主な取組内容と成果		
	③ 今後の課題と対応方向		
VI	プロジェクト2	P14
	① 普及計画の概要		
	② 主な取組内容と成果		
	③ 今後の課題と対応方向		

I 地域農業の概要

- 耕地面積は3,301ha(県全体の約5%)であり、うち水田は1,951ha(59%)。急峻で狭小な農地が主。
- 肉用牛・水稻に、園芸品目を組み合わせた複合経営が主であり、農業産出額は89.7億円(R3)(県全体の2.6%)。内訳は、耕種が夏秋野菜など園芸品目を中心に32億円(36%)、畜産が肉用牛繁殖とブロイラーを中心に56.7億円(63%)、その他果樹等を使用した加工農産物が0.9億円(1%)。
- 基幹的農業従事者数は2,418人(R2)であり、10年間で881人(27%)減少。70歳以上は48%を占め、50歳未満は7%であるなど、農業生産はもとより集落機能の維持が危惧。なお、60歳代についてはR2までの10年間で127人増加。
- 新規就農者は近年は年間6人前後で推移。一方、認定農業者数は269経営体(R5.3)。
- 農業生産や農地の維持、集落機能の低下等が懸念される中、一方では、世界農業遺産の認定や地方回帰の機運など、中山間地域への関心の高まりを期待。

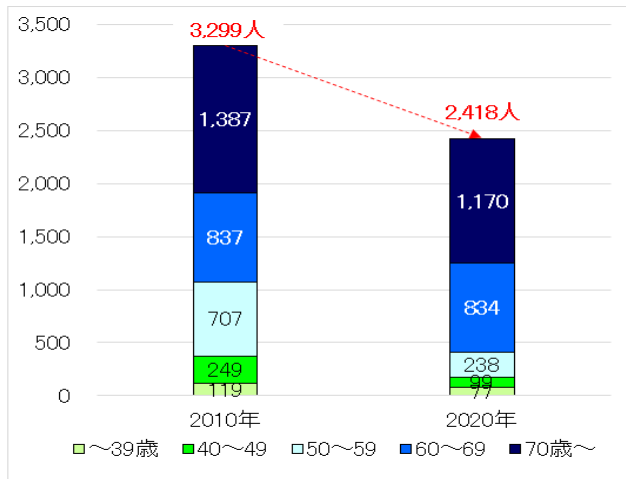


図1 基幹的農業従事者の推移(西臼杵)

※2020農林業センサス

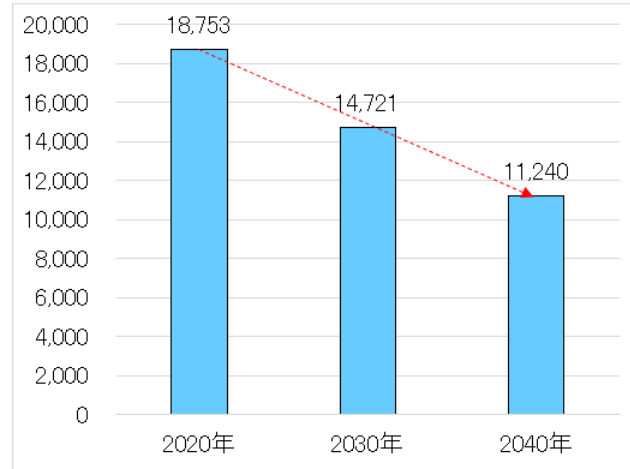


図2 長期的な人口推計(西臼杵)

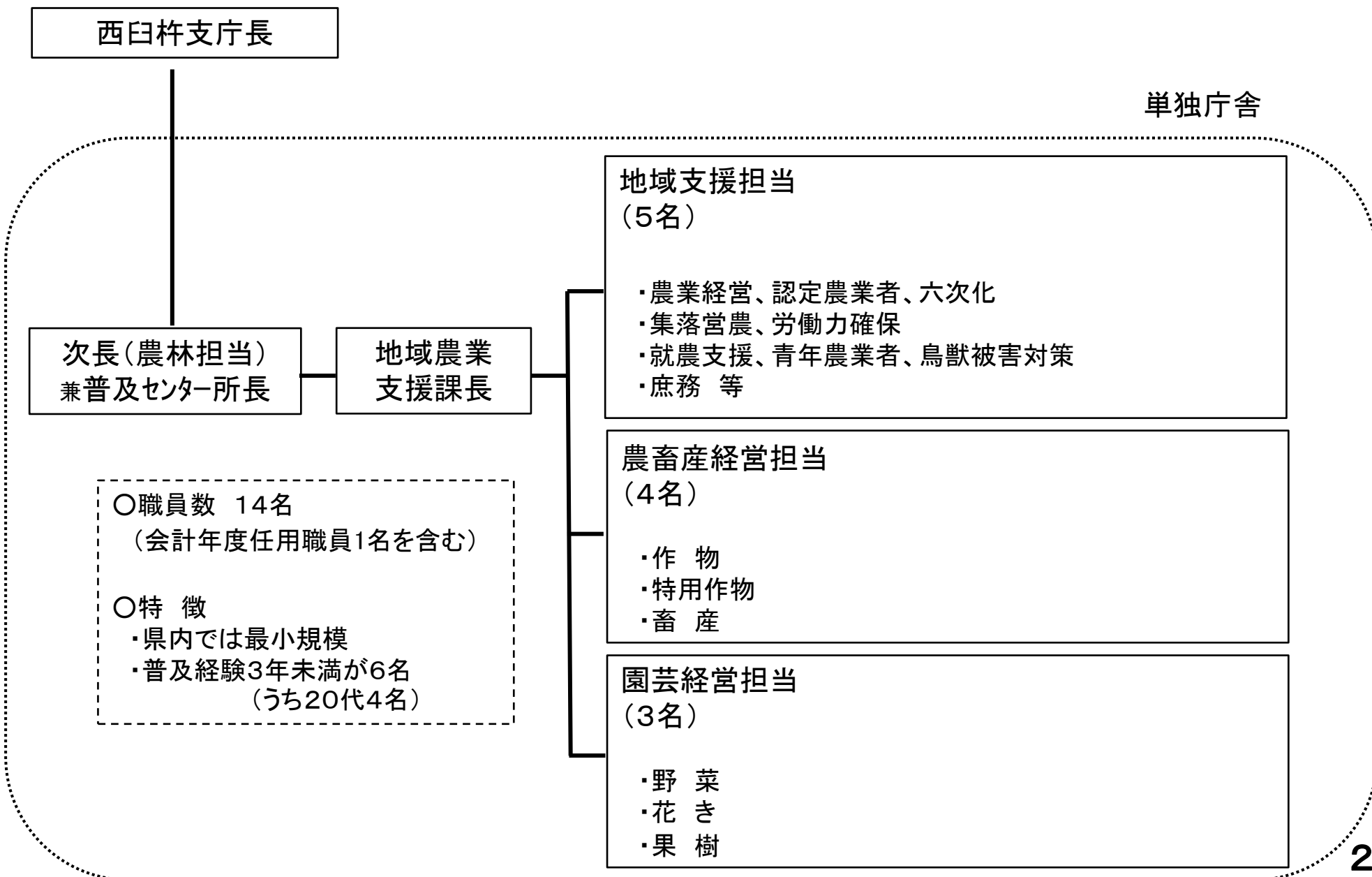
※県中山間・地域政策課システムより試算

表1 農業産出額(R3) (千万円)

	農業産出額	米	野菜	果実	花き	工芸作物 茶	肉用牛	ブロイラー	加工農産物	
高千穂町	642	39	83	10	15	14	6	260	216	3
日之影町	129	15	9	34	x	4	1	54	0	1
五ヶ瀬町	126	16	41	9	5	10	10	37	0	5
西臼杵計	897	70	133	53	20	28	17	351	216	9

※生産農業所得統計

Ⅱ 西臼杵農業改良普及センター組織図



Ⅲ プロジェクト一覧(R3～R7)

第八次長計の位置付け	プロジェクト名	主な活動概要	主担当
”農の魅力を生み出す” 人材の育成と支援体制の強化	農業の新たな担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規就農者や定年帰農、UIターン者の就農・定着に向けた就農計画の着実な実践に向け支援 ○ 高千穂ファーマーズスクールの運営を支援 	地域支援 園芸経営
”農の魅力を届ける” みやざきアグリフードチェーンの実現	地域の将来を背負って立つ 経営者の育成と必要な労働力の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肉用牛や園芸経営での規模拡大等を志向する農業者の給与設計やスマート化、資産マッチング等を支援 ○ <u>地域で労働力を確保する体制づくりをコーディネート</u> 	地域支援 農畜産経営 園芸経営
”農の魅力を支える” 力強い農業・農村の実現	集落ぐるみ、地域ぐるみで 農地を守り営農をサポートする体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>集落営農の取組</u>を目指した話し合い活動等をコーディネート ○ <u>中山間地域型のスマート技術の実証</u>を支援 	地域支援 農畜産経営
”農の魅力を支える” 力強い農業・農村の実現	6次産業化の充実と 産業間連携による 農村地域の所得の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農産加工品の磨上げや観光分野との連携をコーディネート ○ 茶のブランド力向上に向けた取組をコーディネート 	地域支援 農畜産経営

※上記4プロジェクトでは主にコーディネート機能を発揮



放牧の取組拡大に向けた普及
(西臼杵放牧ネットワーク)



高千穂町観光協会と連携した
短期雇用の試行



集落機能を守るための話し合い
活動支援(日之影町一の水)



中山間地域型のスマート技術
実証支援(高千穂町下野西)

Ⅲ プロジェクト一覧(R3~R7)

第八次長計の位置付け	プロジェクト名	主な活動・支援概要	主担当
品目対策 (野菜)	夏秋ミニトマトの安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成績上位農家のデータ分析に基づいた<u>適正な草勢管理</u>技術を支援 ○ 遮光資材の導入による<u>夏期の高温対策</u>を支援 	園芸経営
品目対策 (果樹)	西日杵を支える完熟きんかんの収益性向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一番花の結果率を高め、<u>出荷を前進化</u>するための温度管理技術を支援(チェックシート、スマート技術) ○ <u>モデル樹の全戸設置</u>により剪定など管理技術を平準化 	園芸経営
品目対策 (花き)	ランンキュラスの安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定植のゾーニングや開花前の株のマーキングなど栽培管理面から<u>ウイルス対策</u>を支援 ○ 湿度管理等による<u>花シミ軽減対策</u>を支援 	園芸経営
品目対策 (花き)	夏秋花き産地の復活を目指したりんどうの産地化	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>新規栽培者を掘り起こす</u>とともに、基本技術の習得を支援(6名) ○ 病虫害防除や施肥等の<u>マニュアルをバージョンアップ</u> 	園芸経営

※上記4プロジェクトでは主にスペシャリスト機能を発揮



データ分析による管理技術支援
(ミニトマト)



モデル樹の設置を通じた個別支援
(完熟きんかん)



部会員の全ほ場定期巡回
(ランンキュラス)



栽培推進チラシを全戸配布
(りんどう)

IV プロジェクト設定の手順

普及指導活動計画の検討
普及指導活動実績の検証 等

◆普及事業協議会

- ・3町、3町議会
- ・3町農業委員会
- ・3町教育委員会
- ・JA高千穂地区
- ・NOSAI宮崎 等

◆農業経営指導士会

- ・農業者代表8名



普及事業協議会委員会(西臼杵)

普及事業協議会(5月:幹事会、6月:委員会)

～ 普及実績・計画の協議

普及計画中間検討会(10月)

～ 進捗確認、課題の再整理と対応方策の検討

普及事業協議会(11月)

～ 県内外先進事例調査、研修会

普及実績、計画(案)作成(12月～2月)

～ 関係機関への意見聴取、専門技術センター等との協議等)

普及事業協議会幹事会、農業経営指導士会(3月)

～ 普及実績・計画(案)の協議、意見交換等

V プロジェクト1

農業の新たな担い手の確保

(対象期間: R3~R7)

V-① 普及計画の概要

【現状・課題】

○ 新規就農者数(自営)は、直近の5年間では年間平均6人。担い手の減少が進む中であっても、地域農業・農村を維持するためには、UIJターン者や定年帰農者など多様な人材を取り込む必要。

○ 農業経営の知識や技術が十分ではないままの営農開始となることから、技術力・経営力の向上はもとより、自らの経営における課題を見出し、解決する力の醸成が必要。

《プロジェクト到達目標》
 新規就農者数(自営) R7 10人/年
 就農トレーニング体制の整備 R7 2箇所(累計)

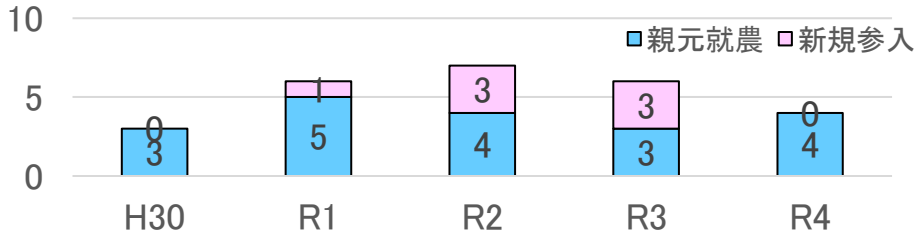


図3 新規自営就農者数の推移

表2 年齢階層別の基幹的農業従事者数

	40未満	40～49	50～59	60～69	70以上
高千穂町	38	55	145	517	636
日之影町	13	17	46	174	293
五ヶ瀬町	26	27	47	143	241

※2020農林業センサス

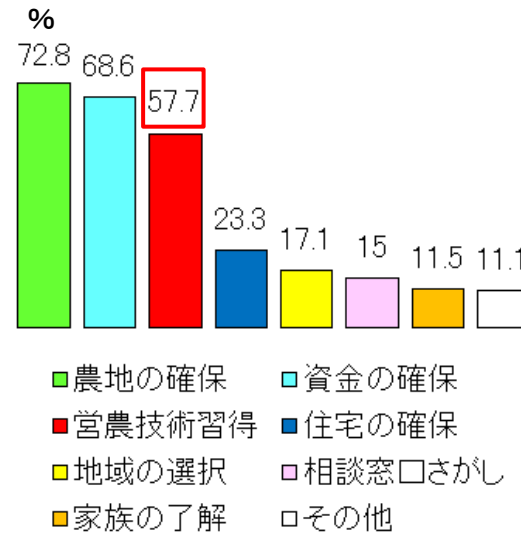


図4 就農時に苦労したこと

※R3新規就農者の実地調査(全国農業会議)

※n=1,200、1人3つまで回答

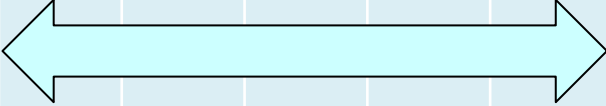
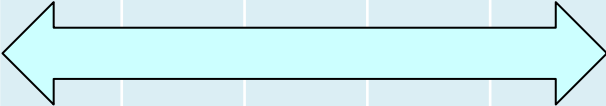
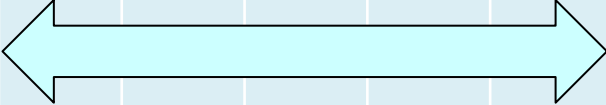
表3 西臼杵SAP会員の現状等

会員数	23	(5年間で12名減)
平均年齢	34	(20代は5名)
課題や問題意識	<ul style="list-style-type: none"> 作業遅れの解消 雇用の確保 反収の向上 繁殖成績の向上 新品種の技術 出荷調整(慣れ) 先輩農家との意見交換やほ場訪問等 	

V-① 普及計画の概要

年度別計画

(○:連携先)

普及課題		R3	R4	R5	R6	R7	市町村	JA	試験研究	民間
1	<u>就農予定者の円滑な就農</u> ・就農研修・サポート体制の構築 ・就農予定者の技術の修得 【成果目標】 技術習得者数 R7 16人(累計)						○	○		
2	<u>就農計画の着実な達成</u> ・所得目標達成に向けた課題抽出 ・個別巡回による技術習得支援 【成果目標】 次世代人材投資資金受給者の 就農計画達成者数 R7 10人(累計)						○	○		
3	<u>青年農業者の資質向上</u> ・課題解決計画作成支援 ・プロジェクト活動支援 【成果目標】 経営改善計画実践数 R7 20件(累計)						○	○		

V-② 主な取組と現在の状況

普及課題：就農予定者の円滑な就農

◆重点対象集団 JA高千穂地区ミニトマト部会、ほうれんそう部会、きんかん部会、ランキュラス部会、就農予定者

【R3~R4】

○「高千穂ファーマーズスクール」(別紙)のR4からの運用開始に向け、JA4部会での受入体制を調整。R4からJターン者1名が入構、ランキュラスの研修を開始し、普及センターにおいて伴走支援。

○多様な担い手を確保するため、定年帰農者をターゲットとし、新規でも導入しやすいピーマン等や推奨するりんどうの栽培・経営概要が分かるPR資料を制作し、管内全世帯に配布。これにより現在3名が野菜や花きの栽培に取組中。

○新規自営就農者(R3~ 10名)を個別巡回や研修会等を通じ技術支援。ピーマン等では地域平均以上の収量を達成。

【R5~】

○高千穂ファーマーズスクールの新たな研修生2名(Iターン者、Uターン者)の受講品目であるきんかん及びピランキュラスの研修カリキュラムを指導するとともに、引き続き伴走支援。また、R4入講者1名のR6就農に向けた農地の確保や施設の導入についての検討等を支援。



研修カリキュラムの進行管理



就農予定者への技術習得支援

将来、農業経営を始めませんか！

西臼杵(高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)地域では山間地の気候を生かした夏秋野菜や果樹栽培が行われています。今後、専業や副業として農業経営をお考えの方は、相談会を行いますので、是非、お申し込みください。
※今回はJA等での販売を目的とした方が対象となります。

1 各品目の作型(例)

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
きんかん(周年)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ピーマン(周年)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ランキュラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
りんどう	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
きんかん	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

2 各品目の一般的な所得の目安(10a(1反)経営した場合)

きんかん(周年2作型、10a) 必要資材(支柱、ネット等) 収入 所得	180万円 90万円	きんかん 必要資材(支柱、ネット等) 収入 所得	170万円 85万円	きんかん 必要資材(覆ふけハウス、ネット 支柱、寒冷紗等) 収入 所得	150万円 50万円	ピーマン 必要資材(支柱、ネット等) 収入 所得	150万円 75万円	りんどう 必要資材(覆ふけハウス、ネット 支柱、寒冷紗等) 収入 所得	16万円 8万円
--	---------------	-----------------------------------	---------------	---	---------------	-----------------------------------	---------------	---	-------------

※品目や金額については、あくまで目安としてご覧下さい。きんかん、くりは成木時の目安です。

3 安心できる就農支援サポート体制

農業を始めるには様々な知識が必要となりますので、栽培当初から高い収量を確保してもらうために、研修会を行う等、しっかりとした就農支援サポートを行います。



遊休ハウスの活用検討

◆成果目標の達成状況

技術習得者数 R2 → R4 2人(累計)

《参 考》 高千穂ファーマーズスクールについて



- 自営就農を目指すUIターン者を対象に、先進農家(就農コーチ)の元で栽培技術や経営を学び、就農後の早期自立を目指すもの。
- 農地が急峻・狭小であり、複合経営が多いという中山間地域の实情に沿った就農トレーニングシステムとして、普及事業協議会での視察等を通じ検討してきた高千穂町が令和4年4月に開講。町の要請を受け、普及センターが中心となり運営を支援。

【研修概要】

研修期間 : 2年間 ※次世代人材投資資金の認定研修機関
 研修時間 : 先進農家(就農コーチ)の元での技術研修 800時間
 (年間) 生産・流通現場の巡回等を通じた研修 400時間
 座学研修 70時間

【研修生】

1期生 : 1名 女性 30代 Jターン(延岡市 → 大阪府 → 高千穂町)
 2期生 : 2名 男性 30代 Iターン(米国 → → 高千穂町)
 : 男性 30代 Uターン(高千穂町 → 福岡県 → 高千穂町)



開講式・入講式
(R4. 4)



開講式・入講式
(R5. 4)



先進農家(就農コーチ)での
技術習得(完熟きんかん)



流通・販売等の現場での
研修(花き)

V-② 主な取組と現在の状況

普及課題：就農計画の着実な達成

◆ 重点対象集団 新規就農者育成総合対策（農業次世代人材投資資金）受給者

【R2～R4】

- 農業次世代人材投資資金受給者を対象に、それぞれの経営課題に応じた管理技術・経営管理等を支援。7名のうち3名において就農5年後の目標所得を達成。
- 就農予定者及び新規就農者（R3～）を対象とした新規就農者交流会を企画し、経営上の悩みや課題等を共有し、解決に向けた意見交換を行うとともに、先輩農業者からの講話等を実施。

【R5～】

- 農業次世代人材投資資金受給者については、引き続き、巡回や研修会を通じた管理技術等習得を支援するとともに、就農予定者及び新規就農者のネットワーク化に向けた新規就農者交流会を企画。



定期巡回による目標達成に向けた管理技術等の支援



グループワークや先輩農家の講話
（「夢や目標を持って、挑戦することの大事さに気づけた」等の意見）

◆ 成果目標の達成状況 次世代人材投資資金受給者の就農計画達成者数 R2 一名 → R4 3名（累計）

V-② 主な取組と現在の状況

普及課題：青年農業者の資質向上

◆重点対象集団 SAP会員(R5 23名)

【R3~R4】

- SAP会員それぞれの農業経営における課題を明確化・解決に向け、「一人一課題」の設定・取組を支援。
- R3は3課題、R4は2課題のプロジェクト活動に取り組み、西臼杵地区冬期大会で発表。R3においては、畜産部門で1名が繁殖成績の向上を達成し、その取組が評価され全国大会に出場。(第3位 全国青年クラブ連絡協議会会長賞)
- 経営発展期にあるSAP会員等を対象とした体系的農家研修を企画。外部講師による講座(R4 5講座)により必要な知識や考え方等を修得。

【R5~】

- 引き続き「一人一課題」の設定・取組及びプロジェクト活動を支援中。



一人一課題の支援(スイートピー)



プロジェクト発表(九州大会)



経営管理の考え方を学ぶ(体系的農家研修)



全国和牛能力共進会(R4)

◆成果目標の達成状況 経営改善計画実践数 R2 - → R4 9件(累計)

【プロジェクト到達目標】 新規就農者数(自営) R4 2人/年 (R7目標 10人/年)
就農トレーニング体制の整備 R4 1箇所(累計)(R7目標 2箇所(累計))

V－③ 今後の課題と対応方向

◆ 今後の課題

- (1) 就農トレーニングの仕組みづくり
- (2) 就農計画達成とSAP活動の活性化
- (3) 多様な担い手の確保

◆ 対応方向

- (1) 就農トレーニングの仕組みづくり
 - ・ 高千穂ファーマーズスクールの円滑な運営に向けた支援
 - ・ 受入体制の拡充(就農コーチのさらなる確保)と残された研修カリキュラムの作成(2品目)
 - ・ 日之影町及び五ヶ瀬町における具体的な仕組みづくりに向けた技術的支援や検討促進
- (2) 就農計画達成とSAP活動の活性化
 - ・ 定期巡回の徹底と経営分析等の支援(継続)
 - ・ SAP会員間の横断的な課題をテーマとしたプロジェクト活動など、新たな取組展開
- (3) 多様な担い手の確保
 - ・ 特定地域づくり事業協同組合制度の活用に向けた管内3町に対するコーディネート(※継続)
(半農半Xを志向する者等呼び込む一つの手法として)

V プロジェクト2

6次産業化の充実と産業間連携による
農村地域の所得の確保

(対象期間：R3～R7)

IV-① 普及計画の概要

【現状・課題】

- 個人や小グループ、法人など計30者が農産加工等に取り組んでいるが、期待する所得の確保にまでは結びついていない者も多い。小ロットであることも要因の一つではあるが、連携を強化し、観光など地域の強みを販売強化に生かしていく必要。
- お茶は、全国的にも希少な釜炒り茶の産地であるが、生産者の高齢化と荒茶価格の低迷により生産意欲が減退しつつある。これまで培ってきた生産・加工技術・ノウハウを販売強化に生かしていく必要。

《プロジェクト到達目標》 新たに開発・改善された商品数 R7 15商品

表4 今後の農産加工運営等の考え方(例)

加工事業者	考え方
A (高千穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌等の加工・販売を通じ、集落との交流を拡大 ・将来は、若手(30代)3名に技術やノウハウを継承したい
B (高千穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・万能だれ等の加工・販売の拡大、飲食事業の安定 ・将来は、第三者への継承も視野に入れているところ
C (日之影)	<ul style="list-style-type: none"> ・特産の果樹のシロップやジャム等の加工・販売を拡大 ・起業して7年であり、まだ先のことはあるが、技術の継承は必要と認識

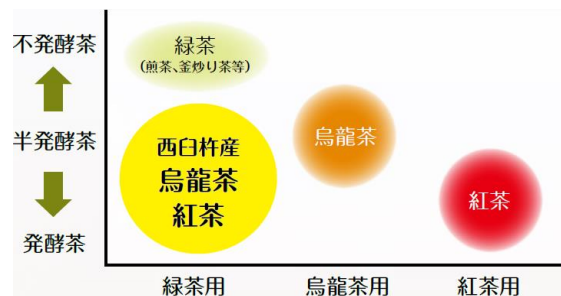


図5 西臼杵の烏龍茶の位置付けイメージ
※他産地のものとは異なる位置付けにあり
香りや味、色等に希少性を発揮

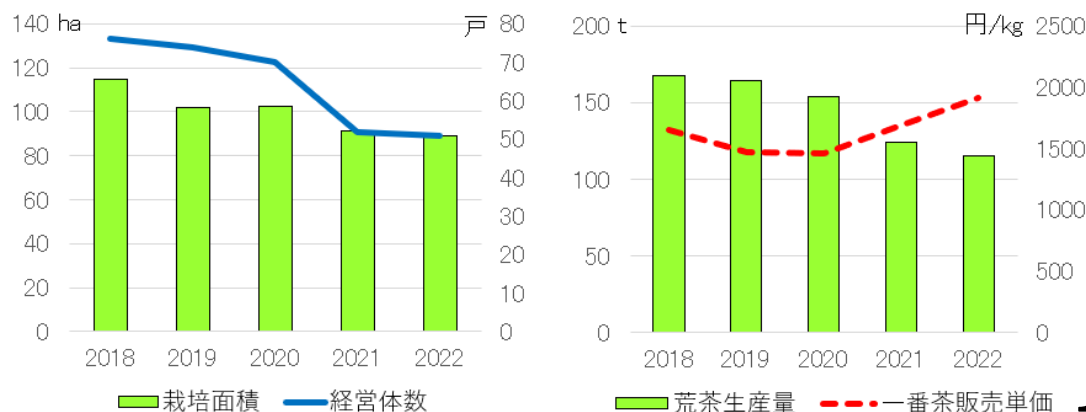


図6 西臼杵地域における近年の茶生産・販売状況等(販売単価はJA実績)

IV－① 普及計画の概要

年度別計画

(○:連携先)

	普及課題	R3	R4	R5	R6	R7	市町村	JA	試験研究	民間
1	<u>地域ぐるみの6次産業化の充実</u> ・農商工連携による地場産品PR ・商品開発・改善と効果的な情報発信 【成果目標】 商品磨上げ数 R7 10商品						○	○	○	○
2	<u>地域の魅力の発揮による釜炒り茶・新香味茶のブランド力向上</u> ・モデル農家の育成 ・研修会の実施 【成果目標】 ブランド力向上の取組数 R7 9取組						○	○	○	

IV-② 主な取組と現在の状況

普及課題：地域ぐるみの6次産業化の充実

◆重点対象集団 日之影町物産振興協議会(23者)、農産加工グループ等(30者(高千穂12、日之影10、五ヶ瀬8))

【R3~R4】

- ローカルフードプロジェクト(LFP)の取組として、ツアー商品の開発・磨上げを支援するとともに、高千穂町内の農産加工グループ等5者と連携し、新たな生活様式に対応した、地域の食文化に触れることができるオンラインツアーを企画。
- 五ヶ瀬町内の加工グループと連携し、作り手の思いを伝える商品の磨上げを支援するとともに、日之影町物産振興協議会と連携し、独自の揚げ技術を有し、製造の規模感に合った製造事業者とのマッチングにより、協働して原木椎茸チップスの商品化を支援。

【R5~】

- 原木椎茸チップスのパッケージデザインの磨き上げや新たなアイテムの検討、また、農産加工商品の発信力強化のための研修会をコーディネートするとともに、加工技術継承の意向調査・リスト化について引き続き取組。



ツアー商品の例(キッチン)



「カラダが喜ぶ高千穂スローフードツアー」「こだわり」と「手間ひま」を伝える



新商品の開発支援(原木椎茸チップス)

◆成果目標の達成状況 商品磨上げ数 R2 → R4 4(累計)

IV-② 主な取組と現在の状況

普及課題：地域の魅力の発揮による釜炒り茶・新香味茶のブランド力向上

◆重点対象集団 高千穂地区茶業振興会(52戸)、西臼杵地区烏龍茶研究会(10戸)

【R3~R4】

- 県が開発した、機能性成分γ-アミノ酪酸(GABA)の含有を高くすることができる技術に着目し、消費者の意見も組み入れながら、全く新しいGABA烏龍茶の製造と商品化を支援。(烏龍茶研究会全体での取組に発展)
- 有機栽培の課題(収量、品質)を改善するため、剪枝技術の実証園を設置し、地域の気候特性を考慮した技術を検討。

【R5~】

- GABA烏龍茶の製造マニュアルを作成し、商品化を支援(4戸)。また、有機栽培における剪枝技術について、引き続き、5戸で実証。(マニュアル作成予定)



新たなGABA烏龍茶の製造・商品化に向けた支援(西臼杵烏龍茶研究会)

西臼杵での有機栽培に適した剪枝技術実証

◆成果目標の達成状況 茶のブランド力向上の取組数 R2 - → R4 4取組

【プロジェクト到達目標】 新たに開発・改善された商品数 R4 4商品(R7目標 15商品(累計))

IV－③ 今後の課題と対応方向

◆ 今後の課題

- (1) 農産加工技術等の継承に対する問題意識への対応
- (2) 新技術(GABA烏龍茶)を収益拡大につなげる販売戦略、有機栽培茶の収量・品質向上

◆ 対応方向

- (1) 農産物加工技術等の継承に対する問題意識への対応
 - 個別ヒアリングによる意向確認(※継続)ときめ細かなレシピづくり等の支援
 - 共同加工の可能性検討
- (2) 新たな技術を収益拡大につなげる販売戦略等
 - 新技術の特長(=GABAであるが美味しい)を強みとした商品力の強化
 - 西臼杵での有機栽培茶の生産における剪枝技術のマニュアル化・普及